

V01a

Ashra 実験 13: Mauna Loa サイトにおける建設と観測

会田 勇一、青木利文、浅岡陽一、長南勉、江口誠、野田浩司、奥村暁、佐々木真人（東大）、T. Browder、S. Dye、G. Guillian、J. Learned、松野茂信、S. Olsen、G. Varner（ハワイ大マノア校）、R. Fox、J. Hamilton（ハワイ大ヒロ校）、久世宏明、篠宮浩平、山口陽平（千葉大）、木村孝之（茨城大）、甲田典子、森元祐介、小川了、渋谷寛、渡辺由以（東邦大）、杉山直（名大）、増田正孝、安田雅弘、渡邊靖志（東工大）

Ashra (All-sky Survey High Resolution Air-shower detector) 実験は、12 式の望遠鏡により全天の 77% を分角精度で常時監視し、高エネルギー宇宙線シャワーの観測や光学閃光現象の探索を行う。

Ashra の光学系は 3 枚のアクリルレンズと球面反射鏡から構成され (瞳径 1m)、0.5m 径のイメージインテンシファイアを焦点面に用いている。42 ° の広視野と分角の解像度、大集光口径を同時に達成しており、ユニークな光学系となっている。

我々は、Ashra 実験の観測地である米国ハワイ島の Mauna Loa 山において、本光学系の設置を開始している。本講演では、Ashra 計画の観測地である米国ハワイ島の Mauna Loa 山中腹に展開した検出器群の配備状況と試験観測について報告する。